

# にほんご発音ラボ

## かのうけい 可能形



### じしょけい      かのうけい      つく      かた 辞書形から可能形の作り方

I グループ：語末の母音を[u]から[e]に変えて、「る」をつけます。

例) 行く→行ける、作る→作れる、もらう→もらえる

II グループ：ナイ形に「られる」をつけます。

例) 見る→見られる、食べる→食べられる、いる→いられる

III グループ：する→できる、来る→来られる

★「辞書形+ことができる」と同様に、“人の能力”や“物・場所の可能性”をあらわします。

例) 日本料理が作れます／作れません (能力)。

このボールペンは、まだ書けるよ／もう書けないよ (物の可能性)。

可能形は全部IIグループの動詞です。

助詞の「を」は「が」に変わります (例①②③)。

例) ① (ギターを) 弾く 【b】

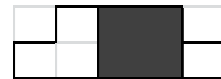
→ (ギターが) 弾ける 【b】



ひける

② (刺身を) 食べる 【c】

→ (刺身が) 食べられる 【c】



たべられる

③ (キャンプを) する 【b】

→ (キャンプが) できる 【c】



できる

④ (日本へ) 来る 【a】

→ (日本へ) 来られる 【c】



こられる



辞書形が 【b】 型するとき、可能形も“下がり目”がありません (アクセントの法則5) (IIIグループ「する」の可能形「でき」る)は例外です)。

辞書形が 【a】・【c】 型するとき、可能形も“下がり目”があります (アクセントの法則6)。



よ とし  
♪良いお年を！♪

「良いお年を（お迎えください）」は1年の終わりに交わす挨拶です。今は遠く離れて会えない大切な人に、心をこめて歌います。来年も笑顔がいっぱい見られますように……。



♪ Drill Video 動詞の活用形④ 可能：マス形から、辞書形・可能形・「辞書形+こと」ができる」と続けて練習しましょう。「こと」は同じ高さで発音してください。



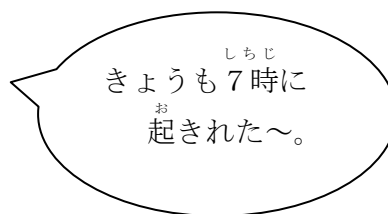
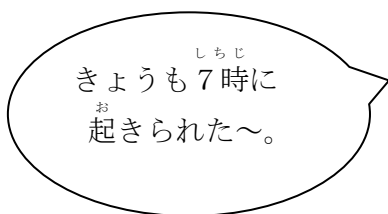
ぬ ことば  
ら抜き言葉

★Ⅱグループの動詞とⅢグループ「来る」の可能形で、「ら」を抜いた言い方を「ら抜き言葉」といいます（例：見られる、出られる、食べられる、来られる）。

♪Ⅰグループの動詞と同じ方法で可能形を作ると、ら抜き言葉になります（語末の母音を[u]から[e]に変えて「る」をつける）。

例) 起きる okiru → 起きれ okire → 起きれる okireru

☞現在、ら抜き言葉は正しい日本語ではありませんが、使う人が増えています<sup>※1</sup>。言葉は変化していくものですから、いつか正式な日本語になっているかもしれませんね。



あなたはどちら？

(1)文化庁の2015年度「国語に関する世論調査」では、「ら抜き言葉」を使う人の割合が、使わない人を初めて上回りました。若い世代ほど使う人が多いということです（「ら抜き言葉」の調査は、1995年から5年ごとに行われています）。